



子ども達のために



理事 川下 宗治

今期より理事を務めさせていただく事となりました。当協会では、総務部で活動してまいりました。微力ながら参加園のお力になればと思います。よろしくお願い致します。

私が勤務する足立ひまわり保育園は足立区の西新井駅に近く、ここ十数年で駅前がガラッと様変わりをして工場跡地にマンションが立ち並ぶ住宅地域へと変わっていきました。

またそれと同時に当該地区は保育需要も増え、7年前に65年間保育をしていた場所を離れ新園舎へ引っ越す事となり、心機一転新しい環境で保育を行っております。

さて、広報誌10月号の依頼を受けたのは7月中頃で、園内でも新型コロナに数名の感染が確認され、夏本番の感染者数が気になるところです。令和5年5月より新型コロナの取り扱いが5類感染症となり、多くの園で今後の行事の進め方に悩まれているのではないのでしょうか。当園でもコロナ禍であった3年間は年間行事を立案する際、全ての行事を実施予定としながらも、規模の縮小化や時間短縮・延期や中止などを含めて検討してきましたが、これ自体は悪い事ばかりではなく、多くの行事を見直すきっかけになったとも考えます。特に年長クラスで実施をしている「園外合宿」については保護者からの期待も多くあり、3年間中止となっておりましたが、今年度より二泊三日でなく一泊二日として行い十分な活動をする事ができました。子ども達も自然と触れ合い、保護者のいない環境で友達と協力する事を知る大変良い機会だったと思います。新年度となりやっと4か月が過ぎ、これから敬老会・運動会・発表会など多くの行事を取り行いますが、子ども達に沢山の経験と思い出が残せるよう考えながら進めていきたいと思っております。

また、複数のメディアでも取り上げられている「不適切保育」ですが、これも多くの園が持つ課題ではないかと考えます。昨年の事件から、当地区でも保護者や保育者・匿名で「不適切保育ではないのか？」と行政へ複数の相談が入った事を園長会で伺いました。その後、行政が実地調査を行った所、その様な事実は無かったり、誤解を受けていたと判明する事案も少なくなかったようで、保育者同士や保護者とのコミュニケーション不足による所が大きかったのではないかと思います。自分だけは大丈夫。私はそのようになるはずがない。と考える保育者もいるでしょうが、どんな人も心の余裕がなくなり、周りに影響され行動がエスカレートしていくと「不適切な保育」を行ってしまう可能性がある。と心に止めておく必要があるのではないのでしょうか。そして、保育者同士がお互いに注意し合える環境づくりや保護者との信頼関係を大切に、それが子ども達一人ひとりの最良の環境となるよう努めていきたいと思っております。

最後に、まだまだ不慣れな部分が多くありますが、東京の保育、会員園の皆様の繁栄、発展を願い、少しでも良い方向に向かうようお力になればと思います。よろしくお願い致します。